



練馬区

No. 81  
2022.07

地域と結ぶ

# 順天堂大学練馬病院ニュース



小児病棟通路のヒーリング・アート



地域の皆さまの  
心と身体のおアシスで  
ありたいと願っています。  
何なりと  
ご相談ください。

各記事にあるQRコードを読み込むことで、  
各診療科および各部署のHPを開くことができます。  
ぜひ、ご活用ください。



練馬病院 HP

# ウクライナ避難民に係るモルドバ 調査団への本学教員の派遣について

順天堂大学国際交流センター

順天堂大学は、JICAによるウクライナ避難民及び周辺国支援のための緊急人道支援・保健医療分野協力ニーズ調査団の第二次調査団として本学医学部附属練馬病院の大場次郎准教授を参加させました。

## ▶ 調査団参加の経緯 (以下抜粋 ※全本文は当院HPへ掲載)

国際協力機構（JICA）は、ウクライナ避難民及び周辺国支援のため、緊急人道支援・保健医療分野協力ニーズ調査団をウクライナの隣国モルドバに派遣することを決定し、医療関係者及びJICA職員等で構成する第一次調査団が3月19日、第二次調査団が4月5日に日本を出発し、モルドバに支援に入りました。第二次調査団には順天堂大学練馬病院の大場次郎准教授も参团しました。



日本を出発する調査団員  
(大場医師は左から二番目)

## ◆ 大場次郎 准教授のコメント (以下抜粋) ◆

今回の活動が、今までの活動と圧倒的に異なる点は、人が起こしている人為的災害であるということです。自然災害では、時間の経過と共に、木々が芽吹き、まちが明るくなり、子供たちの笑顔が見られるようになり、徐々に町が復興に向かっていくこと、明るい未来に進んでいることを肌で感じる瞬間が多々あります。

しかし、ウクライナを含む周辺国の人々が心配している事は侵攻によるさらなる被害拡大です。人為的災害の悲しさ、先行きが戦況に左右される不安定さを強く感じました。

日本国内に居てできることは、関心を持ち続け、決して風化させないことが大切です。

一方で、原因が人為的災害であっても自然災害であっても、避難してきた方々に必要となる緊急医療は変わりません。

地震や豪雨など災害医療に向き合い乗り越えてきた日本の技術や健康危機管理の知見は、世界でも際立つと感じました。早く侵攻が終結することを切望しております。



災害医療チームを効果的に  
配置できる場所を確認する  
大場医師 (左)



本学は、国際協力機構（JICA）と保健医療分野の連携協定を締結しており調査団への協力は本協定に基づくものです。

※ 写真提供：JICA

# 小児病棟・外来に 女子美術大学の協力による ヒーリング・アートを設置しました！

## ～子どもたちが安心して診察を受けられる世界を～

順天堂大学練馬病院では、改修工事を経て小児病棟・総合小児科外来をリニューアルいたしました。

外来では「もっと子どもたちが安心して治療を受けられるような環境にしてあげたい」という想いと、病棟では面会制限の中、親に会えずに不安を抱えるこどもたちを癒し、「慣れない入院生活の中で少しでも楽しみを与えてあげたい」という思いから

このたび女子美術大学の協力を得て、様々なアートを設置しました。

## ◎総合小児科外来 ～紙の国のパレード～

折り紙風の動物たちがパレードを行っているように見える楽しい世界観。

キリン、ゾウ、パンダなど子どもでも分かりやすいように診察室ドアにデザイン！診察室に入るのが怖いお子さんでも、動物たちが待っているドアなら開けてみたくなるかもしれません。



詳細はこちら

## ◎小児病棟 ～動物たちの森のパーティー～

にぎやかで明るくて楽しそうな「動物たちの森のパーティー」がテーマ。森を連想させるような水彩の絵の具と色鉛筆の色調で、動物たちが「ひとりじゃないよ」と語りかけてくるような、安心できる空間を演出。入院生活中少しでも心安らぐ時間を過ごせるよう、動物の仲間たちが応援しています。



## ◎小児病棟 藤岡かおり師長よりメッセージ

来院する子どもたちと出会う中で、一人ひとりの個性や、未来への可能性を肌で感じながら、日々業務にあたっております。病院で過ごす時間が少しでも、お子さんやご家族の癒しの時間になればいいなという思いがあります。

この動物は何？ペンギンさんは何匹いるかな？風船の色は何色？少し大きくなるとペンギンさんはどんな気持ちかな？など…年齢に応じて楽しみ方は様々です。

お出かけが思うようにできないお子さんにも、ヒーリング・アート※を通して、美術鑑賞をお楽しみいただければと思います。

スタッフ一同、皆様の笑顔が輝くことを願っております。

※ヒーリング・アート（癒しの芸術）とは

病院の小児病棟や介護福祉施設を中心に、アートの設置による心の安らぐ空間づくりを目的としたプロジェクトです。白く無機質な病院の環境をアートによって改善していきたいというコンセプトで始められました。

事務部 総務課

# 『地域周産期母子医療センター』認定！

～今後も地域の皆さまの期待に応えられるよう取り組んで参ります

2022年4月  
練馬区 初!!

NICU/GCU  
開設!

多くの出産・新生児を  
受入実績の評価!

## ～地域周産期母子医療センターとは？～

地域周産期母子医療センターとは、  
産科・小児科（新生児）を備え  
周産期に係る比較的高度な医療行為を担う医療機関です。  
〔2022年4月時点／都内14施設認定〕



### 今回の認定に至る経緯・・・

練馬区には地域周産期センターが無く、周産期医療機関が不足していました。

また、周辺医療機関からも、小児・周産期医療を強化して欲しいという強い要望をいただいております。昨年「490床への増床」「NICU/GCUの新設」「産科手術室新設」と診療機能を大幅に拡充。その後もNICU6床・GCU12床を増床し、新生児や妊娠28週以降の合併症を有する母体の積極的な受け入れを行って参りました。

こうした地域の声を背景に、当院の周産期医療向上への努力が認められ、今回の練馬区で第1号となる認定へとつながりました。

事務部 総務課



東京都では、出産前後の母体・胎児や新生児医療を24時間体制で患者の受け入れが出来るように地域周産期母子医療センターの整備を行っています。



詳細はこちら

# 新設！「形成外科」でできること

—本年度より、常勤医が外来診療にあたります—

形成外科 内山美津希

練馬区  
“初”の

## 乳児血管腫 (いちご状血管腫) の治療が可能に!



### ➤ 血管腫・血管奇形

- ・生まれつきの赤アザや血管腫の診断と治療が、当院でも可能になりました。
- 従来、本院へ足を運んで頂き治療を行って参りましたが、当院でも外来通院での内服治療を開始しました。



その他さまざまな疾患や病状を形成外科では新生児から高齢者まで、頭の前からつま先まで幅広く診療しております。

### ➤ 眼瞼下垂

- ・様々なご病気や加齢による、眼の開けづらさの症状

### ➤ ケロイド・肥厚性<sup>ひこうせいはんこん</sup>瘢痕

- ・ケガや火傷のあと

### ➤ 乳房再建

- ・乳がん後の乳房再建術（自家組織再建含む）

- 顔面のケガや骨折、手術や事故により失ってしまった部分の再建やケロイドなどのキズアトを綺麗に治していくことも行っています。ぜひお気軽にご相談くださいませ。



練馬病院 HP  
【形成外科】



## LifeMark-コンシェルジュ 是非ご利用下さい

～便利な機能がたくさんあります～

### らくらく会計

外来診療費を自動でクレジットカード決済します！



会計待ち時間なし



いつものカードでお支払いOK

### 診察情報閲覧

ご自宅で診察の情報が見れます。

#### 予約情報

今後の予約状況

#### アレルギー情報

練馬病院に申告済みの  
アレルギー情報  
(薬剤・食物)

#### 処方情報

練馬病院の外来診療で  
処方されたお薬

### 診察呼出しメッセージ



まもなく診察です。  
診察室前へお戻り  
ください。

診察順番が近くなると、  
メッセージでお知らせ！

### 家族登録



スマートフォン1台で、家族全員の利用  
が出来ます。

他にも色々・・・

初めてご利用される方は、アプリをインストールして  
2号館2階 外来案内までお越しください。

### インストールはこちら



iPhone



Android



順天堂大学医学部附属練馬病院



順天堂大学医学部附属練馬病院  
広報誌「順天堂大学練馬病院ニュース」

第81号 2022.07

編集・発行 地域医療連携室

〒177-8521 東京都練馬区高野台3-1-10

電話 03-5923-3111

URL <https://hosp-nerima.juntendo.ac.jp/>



【順天堂練馬病院 HP】